

**PANEL - LCD 8**  
セットアップ・マニュアル

2000年10月26日  
第1.00版

山 下 シ ス テ ム ズ 株 式 会 社  
大 阪 エ ム ・ ア イ ・ エ ス 株 式 会 社

## 目次

項目	内容	頁
1	はじめに	2
2	製品の構成	2
3	CPU カードの設定	2
4	接続	3
5	外形寸法	3
6	各コネクタのピン割り当て	4
7	仕様	5
付録 A	BIOS の書き換え	6
A-1.	はじめに	6
A-2.	保証について	6
A-3.	BIOS 更新システムディスクの作成	6
A-4.	AWDFLASH.EXE の使用方法	7

## 1. はじめに

PANEL-LCD8 は、LCD パラレル信号を TMDS(差動式高速シリアル)信号に変換して出力する接続用アクセサリです。信号を TMDS 信号に変換することにより、LCD 接続ケーブルを最大 10.0m まで延長する事が可能です。この PANEL-LCD8 セットアップマニュアルは、CPU カード・ディスプレイモニタの各セットアップマニュアルが手元にあることを前提に、PANEL-LCD8 を使用するための最小限の説明になっています。

対応 CPU カード:AS-3240・AS-3330・AS-3340 (全て当社製)

対応ディスプレイ:LC-15P1G-XG

LC-12P1S-SVG

LC-10P1S-VG (全て株式会社ビクター・データ・システムズ社製)

BIOS のアップデートが必要な場合があります。(付録参照)

## 2. 製品の構成

PANEL-LCD8 は、図 1. のような構成になっています。

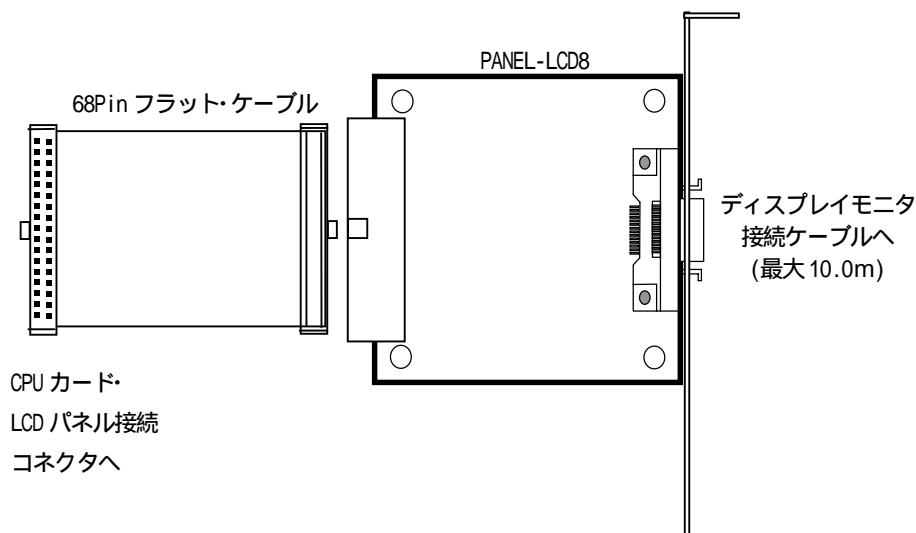


図 1. PANEL-LCD8 構成図

## 3. CPU カードの設定

ディスプレイモニタを接続する前に、CPU カード上にある LCD タイプ選択のためのジャンパ設定を行う必要があります。LCD タイプは対象のディスプレイモニタに合わせた解像度及び TMDS を選択します。表 1 に各 CPU カードのジャンパ設定を示します。(SVGA で正しく表示されない場合は、一度ジャンパ設定で TFT 液晶を選択し BIOS のアップデートを行った後、再度 TMDS に設定して下さい。)

表 1. 各 CPU カードのジャンパ設定

CPU カード	解像度	ジャンパ設定	解像度	ジャンパ設定
AS-3240	SVGA	P7 2-7・3-6 SHORT	XGA	P7 1-8・4-5 SHORT
AS-3330	800x600	P6 2-7・3-6 SHORT	1024x768	P6 1-8・4-5 SHORT
AS-3340	TMDS	P2 2-7・3-6 SHORT	TFT・TMDS 共通	P2 1-8・4-5 SHORT

#### 4. 接続

必ずシステムとディスプレイの電源がオフになっていることを確認して下さい。

CPU カードの LCD パネル接続コネクタに 68Pin フラットケーブルを接続します

PANEL-LCD8 の 68Pin1.27mm ピッチヘッダコネクタ J1 に 68Pin フラットケーブルを接続します。

PANEL-LCD8 をラックに装着します。

PANEL-LCD8 の 26PinMDR コネクタ J2 にディスプレイモニタ接続ケーブルを接続します。

ディスプレイモニタ接続ケーブルをディスプレイモニタに接続します。

BIOS のアップデートが必要な場合があります。(付録参照)

#### 5. 外形寸法

PCB 1.6 mm 厚 FR-4 (UL-V0)

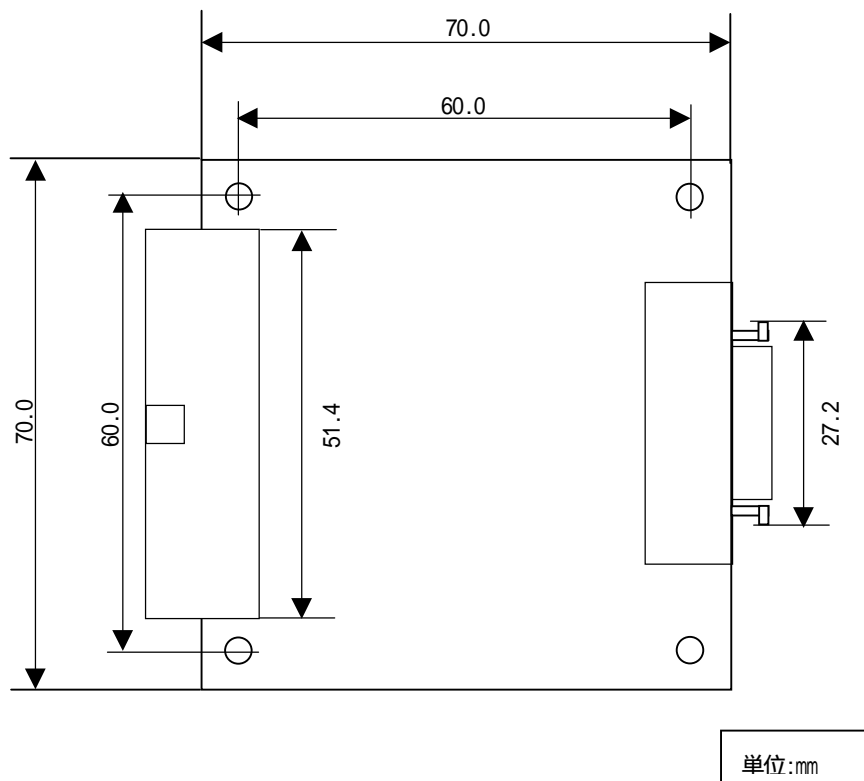


図2. PANEL-LCD8 外形寸法

6. 各コネクタのピン割り当て

表2. 68Pin コネクタ:J1 のピン割り当て

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
B1( )	+12V	B2	+12V	A1	+5V	A2	+5V
B3	GND	B4	P11(G3)	A3	GND	A4	P23(R7)
B5	GND	B6	P10(G2)	A5	GND	A6	P22(R6)
B7	GND	B8	P9(G1)	A7	GND	A8	P21(R5)
B9	GND	B10	P8(G0)	A9	GND	A10	P20(R4)
B11	GND	B12	P7(B7)	A11	GND	A12	P19(R3)
B13	GND	B14	P6(B6)	A13	GND	A14	P18(R2)
B15	GND	B16	P5(B5)	A15	GND	A16	P17(R1)
B17	GND	B18	P4(B4)	A17	GND	A18	P16(R0)
B19	GND	B20	P3(B3)	A19	GND	A20	P15(G7)
B21	GND	B22	P2(B2)	A21	GND	A22	P14(G6)
B23	GND	B24	P1(B1)	A23	GND	A24	P13(G5)
B25	GND	B26	P0(B0)	A25	GND	A26	P12(G4)
B27	GND	B28	FLM	A27	GND	A28	SHFCLK
B29	GND	B30	ENABKL	A29	GND	A30	LP
B31	GND	B32	ENAVDD	A31	GND	A32	M/DE
B33	GND	B34	ENAVEE	A33	GND	A34	NC

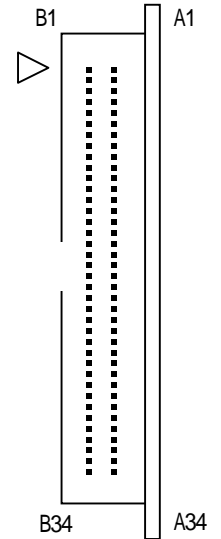
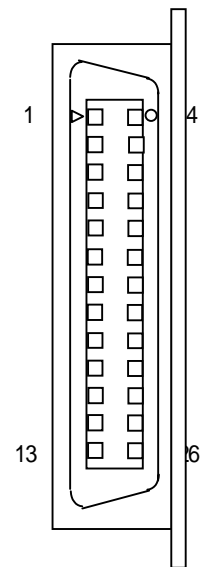


表3. 26PinMDR コネクタ:J2 のピン割り当て

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1 ( )	GND	14 ( )	Tx2 +
2	GND	15	Tx2 -
3	NC	16	GND
4	Tx1 +	17	GND
5	Tx1 -	18	NC
6	NC	19	NC
7	NC	20	NC
8	GND	21	NC
9	NC	22	Tx0 +
10	GND	23	Tx0 -
11	NC	24	NC
12	TxC +	25	GND
13	TxC -	26	GND



## 7.仕様

- TRANSMITTER Device
  - Silicon Image 社 「Si1150A」
  - 転送レート 25-112 mpps (mpps=mega-pixels per second)
  - 解像度/色数 VGA-SXGA (CPU カード・OS 対応ドライバによる)
- コネクタ形状
  - 入力 68Pin1.27mm ピッチヘッダコネクタ(L アングル)
  - 出力 26PinMDR コネクタ
- 対応ディスプレイモニタ
  - (全て「株式会社ビクター・データ・システムズ」社製)
  - LC-15P1G-XG
  - LC-12P1S-SVG
  - LC-10P1S-VG
- 外形寸法 7.0 x 7.0 mm (PCB 本体)
- PCB 1.6 mm 厚 FR-4 (UL-V0)
- 出力方式 TMDS
- 電源供給 5.0V CPU カードより供給(68Pin フラット・ケーブル経由)

「TMDS」「PanelLink」はSilicon Image 社の登録商標です。

付録A BIOS の書き換え

A-1. はじめに

PANEL-LCD8 を使用しディスプレイモニタを接続した場合、CPU カードの BIOS のバージョンによっては表示位置がずれる等正しく表示されない場合があります。そのような場合には、AWDFLASH.EXE を用い CPU カードの BIOS を本製品添付の BIOS に書き換える必要があります。AWDFLASH.EXE は Flash EEPROM に記録されたシステム BIOS 書き換えを行うユーティリティです。更新用ファイル <filename.bin> は必ず 使用する CPU カードと同じ名前のディレクトリ内のもの を使用して下さい。

\*\*\*\*\*

**一度書き換えた新しい BIOS を、古い BIOS に書き換えしないで下さい。  
使用する CPU カードに対応していないファイルに書き換えしないで下さい。  
システムが立ち上がらなくなります。**

\*\*\*\*\*

A-2. 保証について

ユーザにて BIOS 書き込みユーティリティ「AWDFLASH.EXE」を使用して発生した不具合の調査、修理はすべて有償になります。

A-3. BIOS 更新用システムディスクの作成

A-3-1. DOS を起動します。

あらかじめ AWDFLASH.EXE と更新用ファイル <filename.bin> を C: にコピーします。  
更新用ファイル<filename.bin>が使用する CPU カードに対応しているか再度確認して下さい。

A-3-2. BIOS 更新用システムディスクを作成します。フロッピーディスクを A ドライブに入れて下さい。

C:¥>format /sys a:

EMM386.EXE および日本語ドライバは組み込まないで下さい。

A-3-3. AWDFLASH.EXE と BIOS のバイナリイメージ(拡張子 BIN)をディスクにコピーします。

C:¥>copy awdf flash.exe a:

C:¥>copy <filename.bin> a:

filename.bin には更新用のファイルを指定します

#### A-4. AWDFLASH.EXE の使用方法

A-4-1. BIOS 更新用システムディスクから起動させます.

A-4-2. AWDFLASH を起動させます.

```
A:>AWDFLASH <filename.bin>
```

表示例.) AS-3240 にて 8700113.BIN を指定した場合

```
FLASH MEMORY WRITER v7.41
(c) Award Software 1999 All Right Reserved
```

```
For VT82C590VP-US-2A5LCY29C-0 DATE:04/30/1998
Flash Type - ATMEL 29C20 /5V
```

```
File Name to Program : 8700113.BIN
```

A-4-3. 現在の BIOS を保存するか選択します.

```
Error Message: Do you Want to Save Bios (y/n)
```

保存する場合には Y を入力し、ファイル名を付けて下さい。  
現在の BIOS を保存する必要の無い場合には N を選択します。

A-4-4. BIOS の更新を実行します.

```
Error Message: Are you sure to program (y/n)
```

更新する場合には Y , キャンセルする場合には N を選択します。  
この時、以下のメッセージが表示される場合がありますが、CPU カードに正しく対応したファイルであれば問題ありません。

```
-> The program file's part number <-
-> does not match with your system <-
```

```
*****
          BIOS の更新中にはリセットおよび電源を切らないで下さい。
          BIOS の更新に失敗するとシステムが完全に立ち上がらなくなる場合があります。
*****
```

BIOS の書きこみが正常に終了すると次のようなメッセージが表示されます。

```
Programing Flash Memory - 3FFFF OK
```



A-4-5. BIOS の更新が終了したらシステムを再起動させます。

起動中に DEL キーを押し、CMOS SETUP を表示させて一度 LOAD SETUP DEFAULT を実行して下さい。